

2022年6月30日

22年度 技術研修 共同制作成果発表会に寄せて

株式会社 アイヴィス

代表取締役 石和田 雄二

1. はじめに

〔三ヶ月間の新人研修、講師の人も受講者も、ご苦勞様でした。〕

4月から始まった新入社員向け集合技術研修、今日が最終日です。

コロナ禍もあり、対面教育や集合教育の経験が少なかったと思う。

そんな学生時代と違って息苦しい研修でもあったかと思うが、

仲間との共同作業を通じて規律の大切さにも触れ、

自身の成長を感じている人も多いと思う。

3ヶ月間、お疲れ様でした。

今日は、今までの学びの総仕上げの日、共同制作の発表会です。

教育陣も西川PM、黒川講師を始めとして多くのスタッフの皆さんに頑張って貰い、今日を迎えています。

長い間、ご苦勞様でした。

2. 知識以上に学ぶものがあつたと思う

「社会人1年生、経験者も未経験者も、学びがあつたと思う」

職業としてのIT技術者 (IT・Engineering als Beruf) につらつ、
考えたことがあるでしょうか？

思考の表現手段である言語及びプログラミングは基礎中の基礎、
まずは社員全員が、特定言語でこの山を越えることが必要です。
出来れば、日本語の様に、
考えていることが自然に表現できることが望ましい。

しかし、社会課題の解決を目指すITサービスの要求は高く深い。
最新の開発環境と技術知識の習得と共に、
社会変化で生れる課題を理解し、解決へ問題する再定義力など、
技術を超えた応用分野の知識や動向、問題点も知る必要がある。
要は、不断に考える力の訓練が、

最新のIT技術知識と共に、或はそれ以上に必要なのだ。

一方で、開発では人間管理的な開発管理の知識能力も要求される。
ITサービスの優れた技術者には一生が学びの場となるだろう。

共同制作は、成果物を共同で作り上げることが目的だが、成果と共にその過程で学んだものの方が、より大切な学習になる。

この研修期間では、

概念が理解できず苦しみつつ

一旦、理解が進み問題が氷解すると全貌が見え出す体験や、議論が噛み合わない中で、

一歩引いて相手の主張を冷静に考えることで、話が進む経験、

矛盾を時間軸、空間軸、機能軸を広げて代替案を考えて

旨く行く経験をするなど、

或いは、出来そうにない不安の中で、

仲間に迷惑を掛けまいと深夜まで頑張り役割を果たした達成感など、学びや共同作業の必要性を実感、

人間性の理解を含めて知識を超えた学習をした筈です。

これからの現実の仕事の中では、こうしたことが大切になる。

3. 新しい時代の始まりの年、若い力が会社と社会の未来を拓く

「 コロナ禍も明け、円安も少子高齢化も経済再浮上を支援 」

次は、ITサービスの現状とその中のIVISの位置付です。

インフレ抑制で欧米中国の景気動向や輸送網調達網の分断など、そして、急速な円安などのいろいろなリスクもあるが、

日本経済は総じてコロナ禍を超えて復活、景気は上向いている。

この二年間、新型コロナ感染拡大で経済成長が大きく停滞したが、その出口が見えてきたことが一番大きい。

特にITサービス産業は、

コロナ明けで先送りしたDX投資が本格的に動き出す段階にあり、新たな成長期を迎えることになる。

今はITサービスの大変革期、発想力豊かな若い力が時代を拓く。

当社は優秀な若手が多く、

同業の半歩先行く当社には案件選択機会が訪れ、

業務への真摯な取り組みで技術導入、人材育成、信用が一段と進む。

成長志向を堅持、足元を固め次世代ITサービス企業へ脱皮する。

5年後に皆さんは当社の成長を支える中核技術者、

将来構想とそその中の自分の姿を描き、着実に努力して貰いたい。

4. 今日では総仕上げの発表会、積極参加で楽しい思い出の一日に
「明日からは、配属に向けて踏み出す。仲間との絆を大切に」
今日の会の趣旨は、共同制作の作品の発表会。
長くならない様に、最後に一言。

本来なら、発表会後に打ち上げ会をするのですが、
コロナ下でもあり、昨年同様、今回も取止めます。

その代わり、今回はオンライン開催、

東京、名古屋、大阪の多くの社員もリモートで見えています。

4時頃にNTTデータ技術開発本部の幹部6名も視察に来ます。

同期の絆の思い出になる様、元気で楽しい発表の場にしましょう。

明日から、皆さんは現場に移り、OJTが始まります。

先輩の下、実践の場で新たな学びに挑戦して下さい。

皆さんが、

それぞれの場で逞しく成長することを期待します。

（おわり）